高等学校 令和５年度（１学年用）教科　美術　科目 絵画（油彩画）

教　科：美術　科　目：絵画（油彩画）　単位数：3　単位

対象年次組：第　1 年次　1 組～　2 組

使用教科書：（　　）

教科　美術　の目標：

【知識及び技能】　美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，独創的・創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】　主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，美術文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

科目　絵画（油彩画）　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
描画材の特性や使い方について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	単元　静物油彩 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・観察の要点 ・画溶液の種類 ・油彩画用具の特性 ・ ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の特徴を知り、基本的な使い方を　習得する。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、自己のイメージに合わせて油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	13
	単元　静物油彩 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・観察の要点 ・画溶液の種類 ・油絵具の組成 ・油彩画用具の特性 ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の特徴を知り、基本的な使い方を　習得する。 【思考・判断・表現】 構造や質感を観察し、自己のイメージに合わせて油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	25
	単元　野外写生 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自然を観察し、自ら主題を設定して制作に取り組む。 造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・屋内静物と屋外写生の違い ・場所選びの要点 ・画溶液の種類 ・油彩画用具の特性 ・作品と画材の運搬 ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の特徴を知り、基本的な使い方を　習得する。 【思考・判断・表現】 自然を観察し、自己のイメージに合わせて構図や構成を考え、油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	14
後期	単元　人物油彩 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 人体の観察から、造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・人体の構造 ・描く上での無機物と有機物の違い ・画溶液の特性 ・油彩画用具の特性 ・速乾材 ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の特徴を知り、基本的な使い方を　習得する。 【思考・判断・表現】 人体を観察し、自己のイメージに合わせて構図や構成を考え、油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	13
	単元　自由構成油彩 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主題を自ら設定し、造形的な見方・考え方を基に、画材の使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組む。	・主題探し ・エスキースのブラッシュアップ ・画溶液の種類 ・油彩画用具の特性 ・大型作品の運搬方法 ・額装 ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の特徴を知り、基本的な使い方を　習得する。 【思考・判断・表現】 自己のイメージに合わせて構図や構成を考え、油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	26
	単元　画溶液・下地材研究 【知識及び技能】 油絵の具の特性や使い方と、発展的な使い方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 画溶液の組み合わせや下地材の選択・使い方を工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にに画材を研究し、よりよい作品づくりに取り組む。	・画溶液の種類 ・油彩画用具の特性 ・様々な下地材料 ・タブレット端末による制作の記録	【知識・技能】 油彩画材の基本的な使い方から、より幅広い表現方法について理解を深める。 【思考・判断・表現】 自然を観察し、自己のイメージに合わせて構図や構成を考え、油絵の具で豊かに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アドバイスや自他の作品から学び、よりよい作品づくりに取り組むことができる。	○	○	○	14 合計 105